



学校で学ぶ意味って何だろう…②

人との関わり方を学ぶため



友達のノートを見て、考えを確かめ合っています。(4年生の理科)

これこそ絶対に一人ではできない学校で学ぶ重要な意味です。自分の考えを持つことは大切です。しかし、他の人が自分と同じように考えるとは限りません。時には考えや思いがぶつかり合うこともあります。その時に相手を尊重しながら、自らの考えや思いを伝え合い、落としどころを見つけたり、時には我慢をしたり、折り合いをつけたりして物事を進めていきます。そうした過程で、様々な人との関わり方を身に付けていきます。時にはちょっと苦手だなと感じる人とペアやグループを組むこともあるでしょう。でもそれを乗り越えて、協力して課題を引き受け解決していく。一人で学ぶより人と関わりながら学ぶことで、より価値のある学びができます。

「一秒の言葉」

小森 吉弘 作

「はじめまして」

この一秒ほどの短い言葉に、
一生のときめきを感じることもある。

「ありがとう」

この一秒ほどの短い言葉に、
人の優しさを知ることがある。

「がんばって」

この一秒ほどの短い言葉に、
勇気がよみがえってくることがある。

「おめでとう」

この一秒ほどの短い言葉に、
しあわせにあふれることがある。

「ごめんなさい」

この一秒ほどの短い言葉に、
人の弱さを観ることがある。

「さようなら」

この1秒ほどの短い言葉が、
一生の別れになることがある。

一秒に喜び、一秒に泣く。

一秒は瞬間、一秒。

人は生きる

「ことばの力」を考える②

左の詩は、「校長室暗唱チャレンジ」の高学年の課題です。この詩は、1984年にラジオ番組「ゆく年、くる年」で放送された時計メーカーのCMです。最後の「人は生きる」のところには、時計メーカーの社名が入っていました。後に詩集として出版するときに、「人は生きる」の言葉を入れたと作者は振り返っています。

たった一言が、相手を幸せな気持ちにさせたり、元気をあげたりします。たった一言が、相手の心を傷つけたり、悲しませたりします。

ほんの一秒でできるあいさつや言葉かけが、人の心と心をつないでいきます。

大切な思いを短い言葉に託して伝えています。

優しい気持ちがこもったあいさつや言葉が坂下南小に広がり、また、地域に広がっていくことを願っています。

授業参観・PTA総会・懇談会のご感想、ありがとうございました！

校長先生のあいさつというと、長くて堅苦しい感じで苦手だったんですが、菅家校長先生の話はテンポよく引き込まれる感じで、すごく良かったです。感想ではないんですが、菅家校長先生になってから毎日、子供達が「校長先生がね…校長先生がね…」と「校長先生」と聞かない日がないです。大好きみたいです！子供達のことを思って関わってくれてるんだなあ実感してます。15年間小学生の保護者をしてますが、保護者的にも今までの中で一番最高の校長先生だなーと思います。

話がずれてしまってすみませんでした。

ほかにもご感想をお寄せくださった保護者の方がいらっしゃいますが、掲載をご遠慮されました。改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。